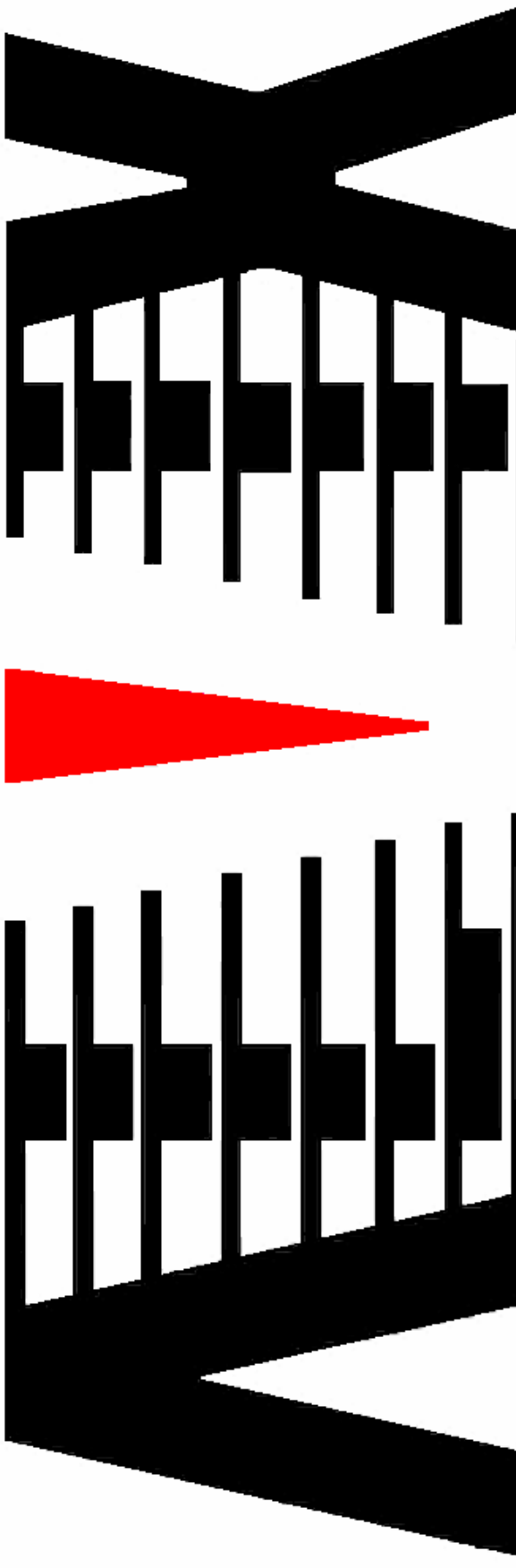
“アルビクス” V/A ERROR DETCTION UNIT
ビデオ・オーディオ　エラー検出装置
ＶＡＤ－８８０／８４０

取扱説明書

Ｖ１．０



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特徴　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．ネットワーク設定　・・・・・　９

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1．主な機能と特徴

◇映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、
その状態をLANインタフェース（RJ-45）にてパソコン等へ通知します。

◇ＴＣＰ／ＩＰソケット通信はＶＡＤ-800互換のため、
既存システムのＶＡＤ－８００からの置換えが容易です。

◇８系統、または４系統の映像・音声信号（Ｌ，Ｒ）のエラーを監視可能です。

◇映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。

＜単画面＞

＜ベース・ウィンドウを含む画面＞

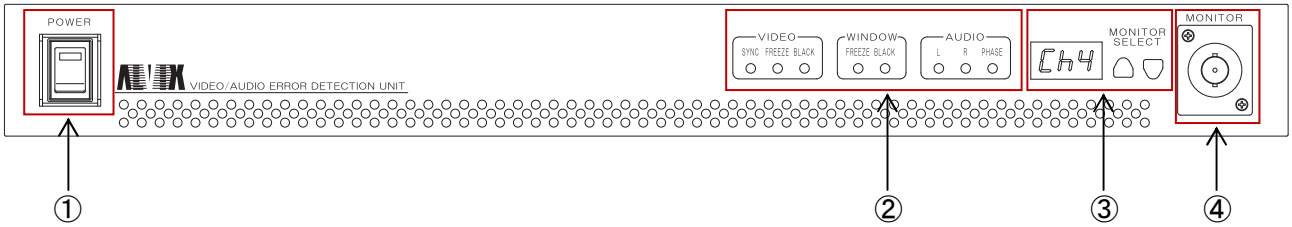
２．仕様

<table>
<tr><td rowspan="6">入力信号</td><td rowspan="3">映像信号</td><td>チャンネル数</td><td>８チャンネル ※1</td></tr>
<tr><td>信号形式</td><td>ＮＴＳＣ</td></tr>
<tr><td>コネクタ</td><td>ＢＮＣ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">音声信号</td><td>チャンネル数</td><td>８チャンネル ※1</td></tr>
<tr><td>信号形式</td><td>ステレオ（Ｌ，Ｒ）</td></tr>
<tr><td>コネクタ</td><td>ＲＣＡ</td></tr>
<tr><td colspan="2">モニターアウト</td><td colspan="2">１系統（ＮＴＳＣ）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">外部通信仕様</td><td colspan="2">１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応
ＬＡＮインターフェース</td></tr>
<tr><td>コネクタ</td><td>ＲＪ－４５モジュラ</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="2">Ｗ４３０×Ｈ４４×Ｄ２５０　（mm）</td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td colspan="2">約　３．１　Ｋｇ</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="2">約１７Ｗ（ＡＣ１００Ｖ±１０%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用温度</td><td colspan="2">０℃　～　４０℃</td></tr>
</table>

※1・・・ＶＡＤ－８４０では4チャンネル

3．各部の名称と機能

3．1．フロントパネル



① 電源スイッチ

本機器の電源ＯＮ／ＯＦＦを行います。

② ステータス表示

モニター選択されているチャンネルの１秒毎のエラー状態をＬＥＤで表示します。

ＡＬＬが選択中は、いずれかのチャンネルでエラーが発生した場合にＬＥＤが点灯します。

ＯＦＦが選択中は、いずれかのチャンネルエラーが発生した場合でもＬＥＤは点灯しません。

＜ＶＩＤＥＯ＞

・ＳＹＮＣ
同期断が発生した場合、点灯します。

・ＦＲＥＥＺＥ
フリーズが発生した場合、点灯します。

・ＢＬＡＣＫ
ブラックが発生した場合、点灯します。

＜ＷＩＮＤＯＷ＞

・ＦＲＥＥＺＥ
フリーズが発生した場合、点灯します。

・ＢＬＡＣＫ
ブラックが発生した場合、点灯します。

＜ＡＵＤＩＯ＞

・Ｌ
オーディオＬの無音が発生した場合、点灯します。

・Ｒ
オーディオＲの無音が発生した場合、点灯します。

・ＰＨＡＳＥ
逆相が発生した場合、点灯します。

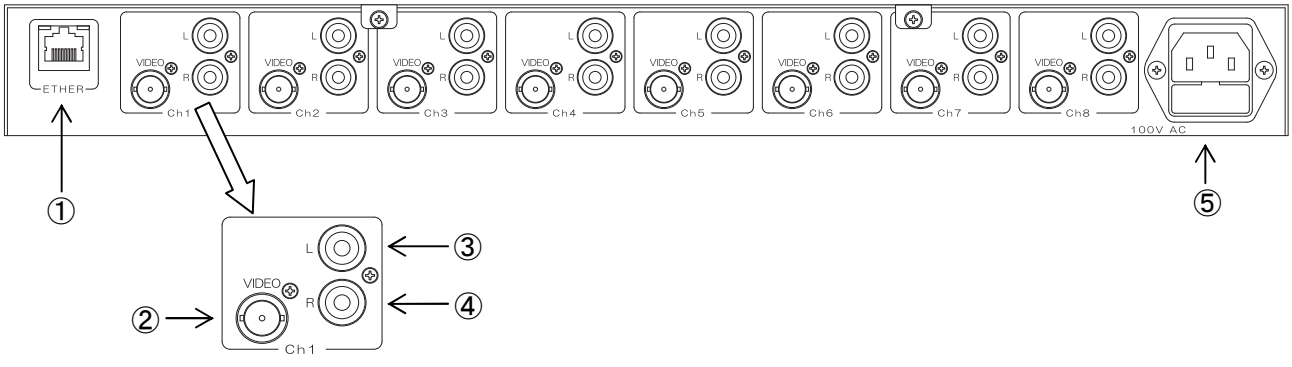
③ モニター選択

モニターするチャンネルを選択できます。

④ モニター出力

モニター選択されたチャンネルの映像信号が出力されます。

３．２．リアパネル



① ＥＴＨＥＲ
　　ＬＡＮインターフェイスコネクタです。

② 映像コネクタ
　　アナログＶＢＳ信号を入力します。

③ Ｌチャンネル音声コネクタ
　　オーディオ信号のＬチャンネル（主音）を入力します。

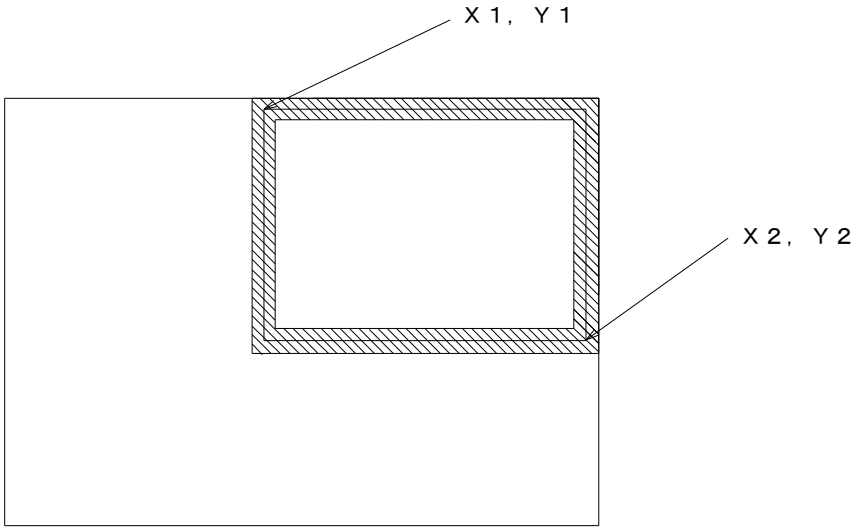
④ Ｒチャンネル音声コネクタ
　　オーディオ信号のＲチャンネル（副音）を入力します。

⑤ ＡＣ入力
　　ＡＣ入力（３Ｐインレット）です。

３．３．ウィンドウ画面の座標の指定方法

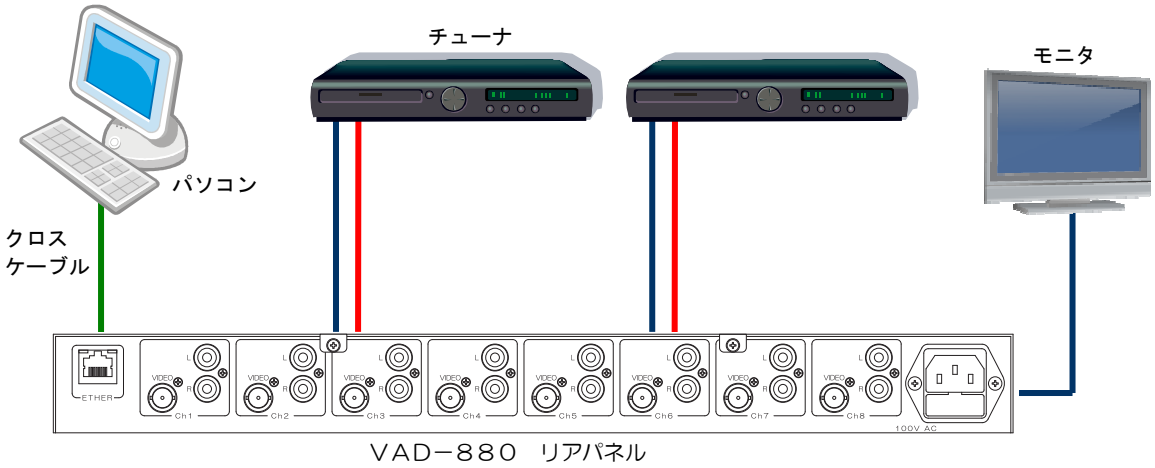
ウィンドウ画面の座標の指定方法は、外部コマンドで　始点（Ｘ１，Ｙ１）と終点（Ｘ２，Ｙ２）を指定します。指定すると、モニタ出力からウィンドウ画面の座標の枠が出ます。
ベースとウィンドウ画面の切替わりラインが青帯の中間に来るように設定して下さい。

（※外部コマンドについては、“インターフェース仕様書”をご参照下さい）



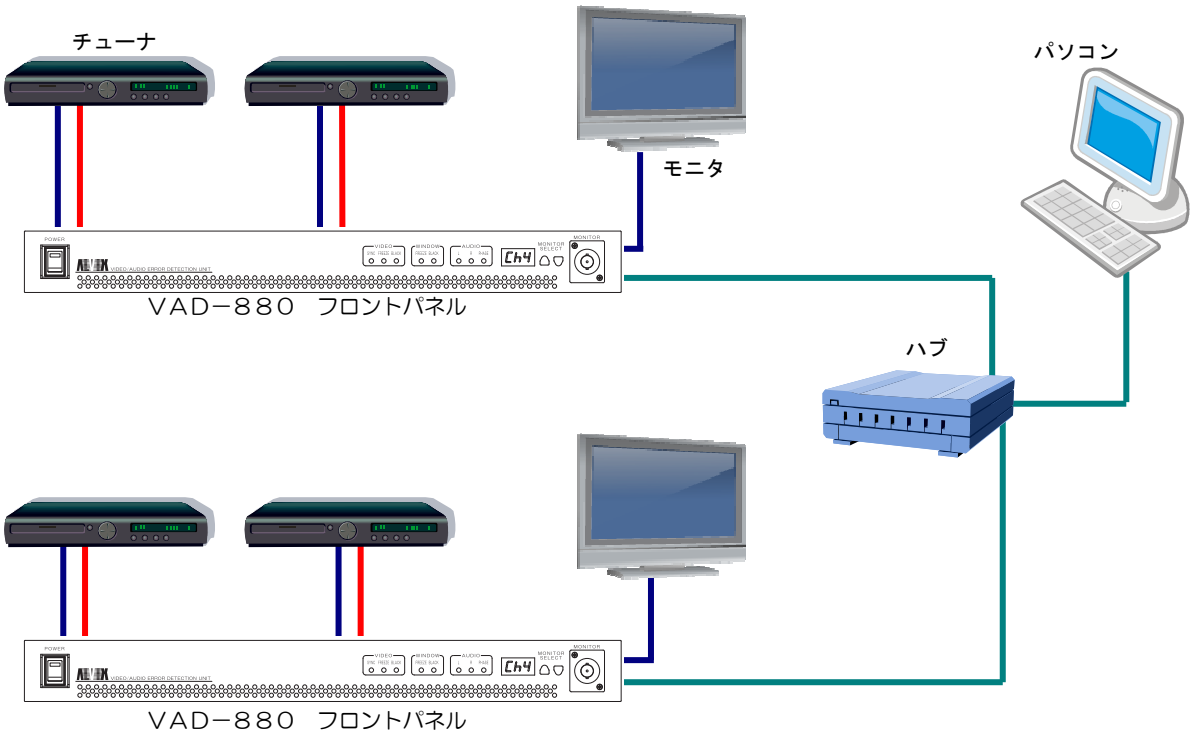
３．４．接続方法

パソコンとエラー検出装置を接続する場合



VAD−880　リアパネル

パソコンと複数台のエラー検出装置を接続する場合

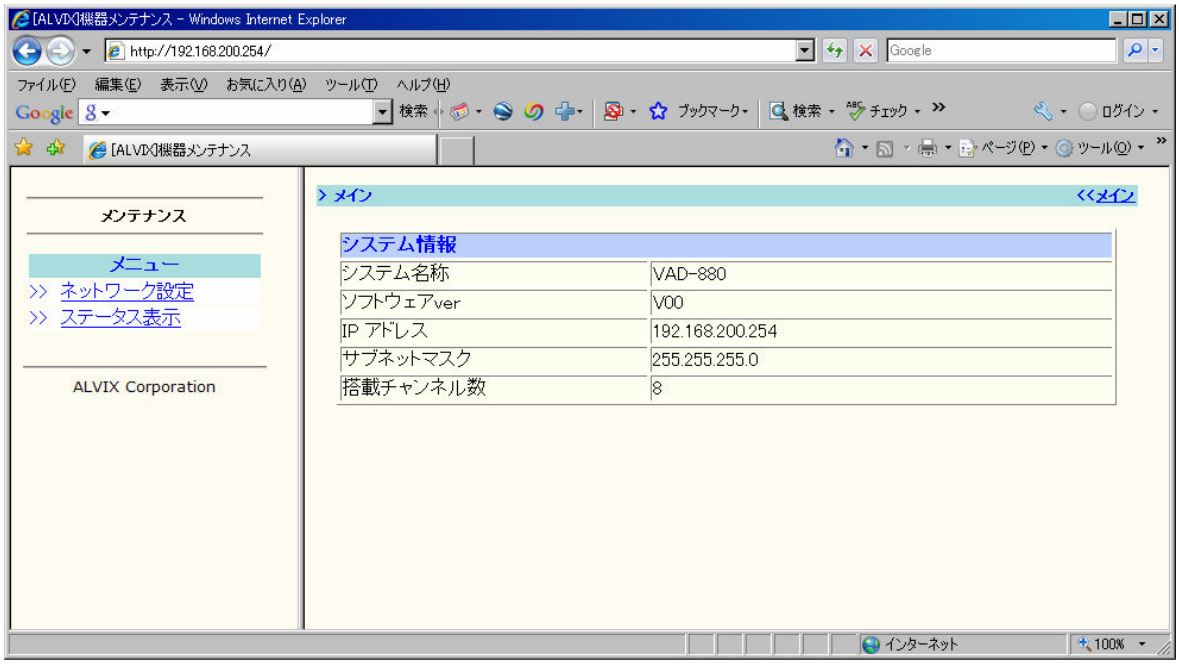


VAD−880　フロントパネル

VAD−880　フロントパネル

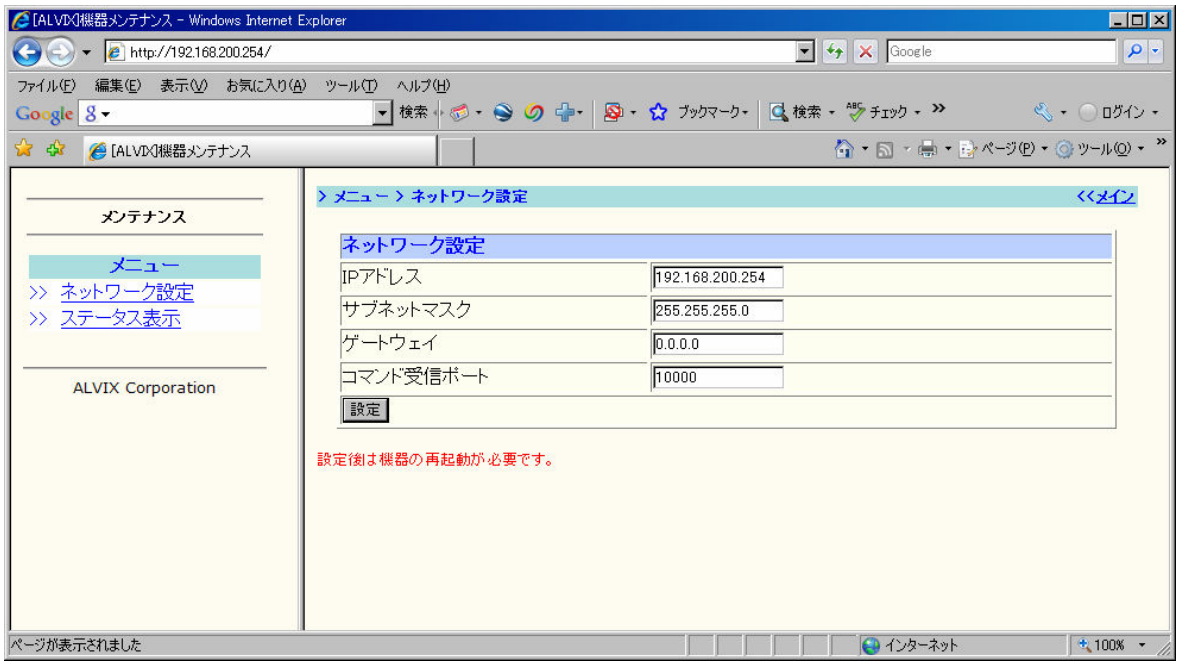
4．ネットワーク設定

InternetExplorer で本機器へ接続すると以下のようなメインページが表示されます。
左側のメニューから各種設定ページを開くことにより、接続先の登録および本機器のネットワーク設定を行うことが可能です。



４．１．ネットワークの設定

　メインページよりメニューの「ネットワーク設定」をクリックすると、
以下のようなページが表示され、本機器のＩＰアドレス等の変更が出来ます。



・ＩＰアドレス
　本機器のＩＰアドレスを設定できます。

・サブネットマスク
　本機器のサブネットマスクを設定できます。

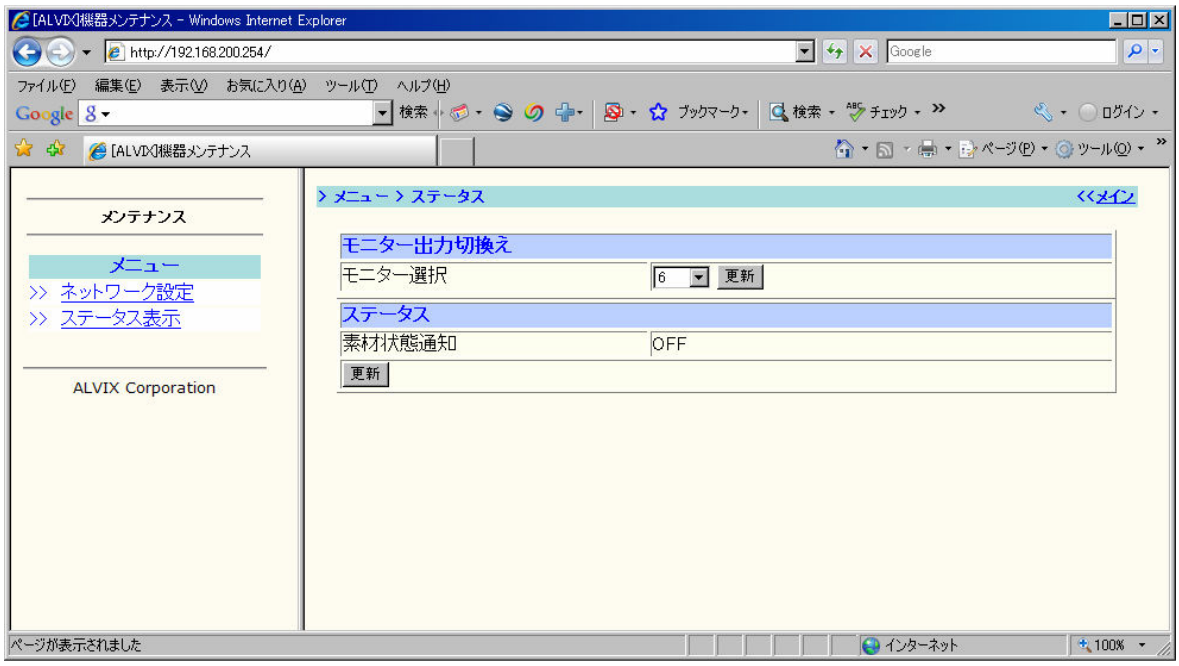
・ゲートウェイ
　ゲートウェイアドレスを設定できます。

・コマンド受信ポート
　コマンドを受信するポートを設定できます。

ネットワークの設定を変更した場合、再起動が必要になります。

４．２．ステータスの表示

メインページよりメニューの「ステータス表示」をクリックすると本機器の各種ステータスを確認することが出来ます。



・モニター選択

フロントパネルのモニターへ映像信号を出力するチャンネルを選択することが出来ます。

・素材状態通知

映像・音声信号のエラー状態の通知が有効になっている場合、表示がＯＮとなります。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒959―0214
新潟県燕市吉田法花堂1974－1
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８